

国府同窓会報



「国府」一〇〇まで、
一〇〇から

愛知県立国府高等学校同窓会

会長 小田 伊佐浩

(三十一回生)

国府高校同窓会の皆さまには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動並びに母校の発展のためにご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご存知の方も多と思います。が、愛知県立国府高等学校は一九二〇年(大正九年)に、宝飯郡高等女学校として開学し、三年後に愛知県国府高等女学校に改称、その後一九四八年(昭和二十三年)学校教育法の施行に伴い愛知県立国府高等学校と改称いたしました。豊川市に最初に誕生した高等学校として、また、三河の国「国府」の名をいただく東三河屈指の伝統校として現在に至っています。

同窓会は、愛知県国府高等女

学校に改称された一九三三年(大正十二年)に「この花会」として発足いたしました。その後の校名変更に伴い、単に愛知県立国府高校同窓会という名称で現在まで至っております。皆様ご存知の「光風」という名称は一九二七年(昭和二年)に発行された同窓会の機関紙の名前が謂れと伺っております。また、一九七二年(昭和四十七年)に完工、寄贈された二代目の同窓会館が「光風会館」と名づけられたことで、以降の同窓生の方々になじみ深い名称になったかと思えます。一九五三年(昭和二十八)年から始めた購買部も今なお卒業生のスタッフにより変わらずに運営させていただいています。

さて、ご周知のことと存じま

第 62 号

平成 30 年 12 月 15 日

編集・発行

愛知県立国府高等学校同窓会

〒442-8586

豊川市国府町下坊入 10-1

Tel・Fax

0533-82-2673

印刷/大林印刷

すが、母校は二〇二〇年で創立百年を迎えます。大島百周年実行委員長のもと、学校・PTAとともに同窓会も一丸となって百周年記念事業に取り組んでまいります。計画の一つに正門整備事業があります。これは、八〇・九〇周年からの中庭整備事業の踏襲及び完結と捉えた正門及びその周辺の環境整備事業です。ただ単に新しい正門を設けるのではなく、これまでの百年の伝統を刻み、次の百年に向かう志を吹き込んだ新しい学校の顔を創ろうという事業です。同窓会員の皆様も楽しみにしていただきたいと思います。他にも記念行事・記念誌・式典など多くの企画を進めています。会員の皆様のご援助・ご厚志無くしてはことを進められないのも事実です。どうか次の百年の後輩たちのためにもご協力のほどを切にお願い申し上げます。

終わりに、会員三万二千余人の皆様のご健康・ご健勝を祈念し、ご挨拶いたします。



「正門の二〇〇年後は…」

愛知県立国府高等学校

校長 水野 智久

はやいもので、もう国府高校に三度目の赴任をした年が暮れようとしています。七年振りの国府高校は、生徒の挨拶といい、先生方の若返りといいとにかく新鮮で、初めて国府高校に足を踏み入れた二十六年前の驚きを、もう一度味わっている気分です。

百周年に向けて、いくつかの会議に出席しましたが、特に正門に関する会議が印象に残っています。委員の一人から「この正門は一〇〇年後にどうなっていますか?」という問いが寄せられました。その時の答えは「壊れています。」でした。きつと回答者の頭の中には建築物の耐用年数が浮かび、紛れもなく正解の前記の答えを出したのではなにかとは思いますが…。私だったら何と答えたいでしょう。きつと「国府高校の伝説になっていくと思います。」と答えたことと思います。

実行委員長さんは日頃から百周年記念事業を「これからの一〇〇年に繋がるものにしたいたい」とおっしゃっています。これからの一〇〇年・・・自分の寿命のずっと先なので定かではありません。

ませんが、昨今の情勢を見ていると、「猛暑だろうなあ」とか、「特別警報だらけかなあ」とか、「自由に貿易してるかなあ」とか、心配なことが次々に浮かんできて心が落ち着きません。とすれば、この事業は、国府高校に関わるすべての人が「ああ、国府高校は一〇〇年先まで安泰だな」と感じられるようなものであることも必要だと思えます。様々な想いを吸い込みながら、ますますすばらしい事業となりますように。

終わりになつてしまふ恐縮ですが、光風会館二階和室の空調設備の更新寄付、並びに東海大会出場選手へのご支援ありがとうございました。おかげさまで、恒例の文化祭のお茶会は大盛況でした。東海大会では、弓道部、水泳部とも悔しい思いをしましたが、クラスマッチの敗者復活戦でも鍛えた諦めない心で、次の受験という目標に挑んでおります。

今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成30年度 同窓会総会・懇親会 平成30年5月13日(日) 開催



総会には総勢400名余の会員が出席し、平成29年度の事業報告・決算報告、役員改選、会則の一部改正、平成30年度の事業計画・予算案が承認されました。役員改選では現役員が留任となりました。



旧交を温める日

二十回生 数井 良光



平成三十年五月十三日大粒の雨音が、歓喜の声に震えながらそっと耳元で囁いた。「旧交を温める日だよ」と。恩師二名二十回生百三十四名参加。禁酒の宴に懐かしき面影を見つつけ、五十年前の姿がダブる。時の悪戯に戸惑いつつ楽しい語らいの一時を過ごさせて頂いた。同窓会幹事四十回生の皆さんお世話になりました。同夜、同期会には恩師二名を含む総勢八九名が参加。宴の場は禁酒解禁となり、アルコール効果は絶大であった。会場のこここでは五十年前の記憶の



恩師花束贈呈

ケラ収集開示活動。また、喧噪の中、特別企画の太極拳共同演武により皆の体力が回復。その勢いは夜更けを忘れさせ、さらに二次会では過去の恋愛事情告白タイムに飛び火し、雨でも消せぬ忘れ得ぬ思い出を残した。同期会実行委員の皆さん「苦労様でした。心より感謝致します。それでは、団塊世代シンガリ二十回生各々の天寿に向けて、すべからず健康を保ち、幸せを永久に求め、全員強制参加型競争の開始。「ヨイ・ドン」おしまい



母校との関わり

三十回生 関根 清則



私は昭和六十年から国府高校の非常勤講師として勤めており、在学中を含めると約四十年間母校で過ごしている事になります。来たる二〇二〇年に創立百周年を迎えるという歴史の中で、私自身も人生の三分の二を懐かしい学び舎に身を置く事ができ誠に感慨深いものがあります。日々の生活の中で(例えば授業へと渡り廊下を歩いている時などに)ふと若い頃の熱い思いが蘇る、そんな素敵な環境にいられる私は、何と贅沢で幸せ者なのだろうと常を感じています。



校歌斉唱

長きにわたる母校との縁により三〇回生の代表幹事としてお手伝いをする事となったのですが、伝統ある国府高校の歴史のほんの一片とはいえこの自分が関与するのかもしれない、プレッシャーと不安とで押し潰されそうでした。そこを何とか今日までやってこられたのは、偏に多くの方々への支えによるものだと感謝しております。国府高校の良き伝統が、このまま未来へと紡がれていく事を望んで止みません。これからも益々の発展を！



「仲間と共に」

四十回生 小田 敦子

雨の中での開催となりましたが、多くの会員の皆様にご出席いただき、無事、会を終えることができました。

毎年五月第三日曜日に開催されていた同窓会総会・懇親会が、今年は一週早く開催することになりました。私たちは私たちがらしい同窓会にしようと、準備を

始めました。とはいっても、何名の参加者を募ることができ

るだろうか、アトラクションはどうしようか、企画運営を一緒にやってくれる仲間を集められるだろうか、手探りの状態からのスタートでした。

しかし、ここは高校時代を一緒に過ごした仲間。声を掛け合い、仲間を集め、知恵を出し合い、一つ一つ準備を進めることができました。四十回生の仲間が代表を務める舞踊グループ「音羽華炎」にアトラクション



野澤実行委員長挨拶

を依頼し、会場設置をはじめ、昼食や飲み物の手配も四十回生の仲間を通じて準備を進め、当日を迎えることができました。

十九名の恩師の先生方を招いて、大いに盛り上がった懇親会でしたが、山場はなんと言ってもアトラクションでした。

小田会長や水野校長先生を中心に参加者の皆様と共に踊ったステージは、会を企画運営してきた私たちスタッフの胸を熱く

くださった参加者の皆様、一緒に踊ってくれた先輩方、五十五回生の皆様、四十回生の仲間

感謝の気持ちでいっぱいです。最後にご参加いただいた皆様、ご助言してくださった先輩方、会の運営にご協力いただいた皆様、心より感謝申し上げます。



青春の日々を過ごした母校

五十五回生 田中 悠也

今回私達五十五回生は、国府高校の総会、懇親会に初めて参加させて頂きました。

当時の面影のままの校舎や体育館の姿に懐かしさを感じると共に、お世話になった恩師の先生方や、一緒に過ごした仲間達との再会に思い出も弾みました。三十

代半ばとなった今だからこそ、高校時代とは違った視点で、近況や今後の夢を語り合うことができました。また、今回の総会・同窓会

に参加するにあたり、中心となって運営して下さった四十回生の先輩方の企画力、団結力等に感激

しました。事前からの準備、当日の運営に先輩方が力を合わせて取り組んでいる姿を目の当たりにして、十五年後に向けて気が引き締まる思いを持ちました。

現在私たち五十五回生は、それぞれの場所や立場で頑張っています。三十周年の節目には今回参加できなかった人も含めて、多くの仲間と共に同窓会を盛り上げていきたいです。最後に、参加して頂いた恩師の先生方、このような素晴らしい会を企画・運営して下さいました。諸先輩方、ありがとうございました。

幸さんでした。参加していただいた皆さんありがとうございました。

次回二十八回大会は、十月四日(金)の予定です。

第二十七回 光風会ゴルフコンペ

台風二十四号が去り、二十五号発生、雨が早朝まで降っていましたが、受付開始前には止み午後はわか雨もありましたが日差しも暑いくらいの天気となりました。一四三名の方々のご協力のもと、二十七回大会も無事開催することができました。

優勝者は、十四回生宮道昌





学問の自由な楽園

三十一回生 篠宮 雄二



「ここ数年、「大学とは何か？」という腹の足しにもならないことを考えています。いまのところの結論は「大学とは、学問の自由な楽園」(物理学者・朝永振一郎さんの『科学者の自由な楽園』のパクリ)。毎年四月、入学してきた学生さんに「これから勉強はしないで、学問をして下さい」という言葉を贈っています。名古屋大学の教授で哲学者であった真下信さんの「学問とは、問うことを学ぶこと」を踏まえたもので、同時にその答えを自ら見つけ出すまでが大学での学問の醍醐味であることも伝えていきます。

高校生活の第二の目的は「ソフトテニスでインターハイに行く」こと、第二に「田舎(設楽町)を脱出するために東京の大学に行く」と、そんな夢を抱きながら国府高校の門をくぐりました(結局、二

つとも夢は叶いませんでしたが)。入学して最初の進路指導で「毎日二時間の自宅学習をして下さい」という話があり、また当時「国府高校は某受験予備校の予備校」という言説が堂々と語られていたもので、一時間勉強して浪すれば何とかなると安心し、高校生活は部活四十五、学業三十五、その他二十の案配でやっていたと決めました。

当時の国府高校の魅力は、学業成績が生徒に対する唯一の評価基準ではなく、多様な評価基準を生徒も生徒も持っていた点、つまり生徒に高校生活を選択する自由があった点にあると思います。したがって生徒も小田伊佐浩君をはじめ個性的でしたし、先生もチャイミングな方が揃っていました。

英語の河合四郎先生はいつも赤線をひっぱりながら洋書を読んでも鈴木登子先生の『ころ』(夏目漱石)の授業、英語リーダーの西尾得二郎先生の『星の王子様』の授業は秀逸でした。

愛知県北設楽郡設楽町三都橋に生まれる。同級生七名の三橋小学校、同じく二十七名という清瀬中学校を経て、国府高校へ。お決まりの浪人生活の中の夏八月、「グタイゴ」の「ガンダーラ」を口ずさみ、入道雲を眺めながらインド哲学を志して文藝、名古屋大学文学部(国史学専攻)では「運動」(こはいても体育系の軟式テニス部)にあぐら、卒業後は愛知県高校教諭となり、三年で退職して名古屋大学大学院文学研究科に進む。博士課程退学後、名古屋大学大学院文学研究科講師を経て、現在、中部大学文学部歴史地理学科教授、研究者へのきっかけは、学部三年生の近代史演習でのホロホロの報告後、山口啓二先生より「篠宮君、あなたは新聞を読んでいますか？」と言われたこと(歴史学と現代)。

専門は、織田政権期から明治〇年代までを射程に入れた日本近世史。著名人には興味なく、職人など働く人々を通して「伝統社会」としての日本の近世社会と国家の特質を考えている。主な著書・論文として「職人国役にみる幕藩制国家の特質」(単著)、「身分の周縁と近世社会」(2 海と川に生きる)(共著)などがある。

大学に入学して気づいたのが、国府高校には学問の雰囲気は漂っていました。そんなこともあり、私の「その他二十」は学問の周辺を逍遥することでした。国府にあった二軒の本屋さんや豊橋の精文館に行き、気に入った本があれば買って読み漁っていました。格好をつけて洋書を買ひ、英英辞書を片手に読んだりもしました。大学受験にはさほど役立ちませんでした。が、学問や大学に対する関心を大いに高めることができました。

もつとも学問のおもしろさとその醍醐味を知ったのは、大学三年生から歴史学を専門的に学び、一年留年して卒業研究を完成した時でした。今、大学では日本の江戸時代を中心とする日本近世史のゼミ演習を担当し、卒業研究の指導をしています。ゼミ生に卒業の贈り物を届けるため、授業中は「外したら許しませんで」という意味も含めて「的当(テキストウ)」をモットーとし、終われば「ただの教授」を演じつつ、「大学とは何か」を問うています。

創立二〇〇周年記念事業実行委員会の取り組みを紹介します

昨年六月にスタートした本校創立百周年記念事業実行委員会は、本年六月二十四日に、第二回総会が開催され、規約の一部改正、平成三〇年度組織案が承認されるとともに、各専門部会から活動報告がなされました。それ以後も引き続き各専門部会が、活動を本格化していますが、その進捗状況を報告します。

総務部会
平成三十一年四月から募金活動が実施できるよう、「趣意書」の作成、募金目標額を七千万円とするとともに、記念誌の編集に着手し、年次代表者と同級生への執筆者の紹介を依頼しました。また、写真等資料提供について、同窓生の皆さんの協力をお願いします。

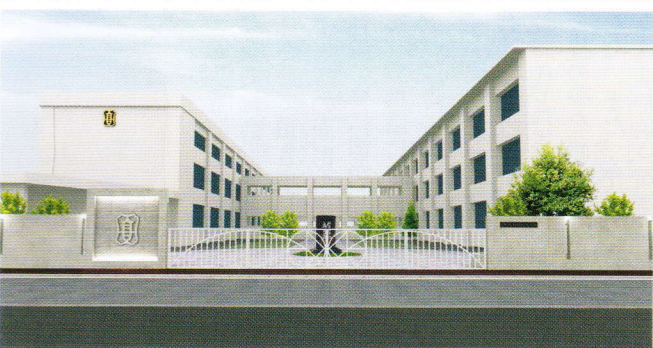
式典部会
創立二〇〇周年記念式典は、二〇二〇年十月二十四日(土)に市文化会館で実施することを計画しました。

事業部会(記念事業)
一〇〇周年を記念してTシャツの作成を行います。

また、学校で実施している文化的事業への支援を行うことが決まりました。なお、メイン事業については式典部会と連携をして今後決定していくことになりました。

事業部会(正門整備)
正門等整備事業につきましては、本年四月からプロポーザル方式での事業者の募集を実施し、七月に事業者を決定し現在は、設計が進められています。

また、新たに、SI(スクールアイデンティティ)として本校のアイデンティティを追究し、それをスクールマークやスクールカラーなどに反映させる試みを開始します。



正門の完成イメージ

[2019年度総会・懇親会]

- 日 時：2019年5月19日(日) 午前10時～
 - 会 場：国府高等学校体育館
 - 会 費：5,000円
 - 該当回生：21回生(卒業50周年)
31回生(卒業40周年)
41回生(卒業30周年)
56回生(卒業15周年)
- ※準備等の都合により当日の申込はできません。
事前にお申し込みください。
(同窓会事務局 電話 82-2673)
実行委員長 41回生 渡辺 洋己

[ゴルフコンペのお知らせ]

- 日 時：2019年10月4日(金)
- 会 場：平尾カントリークラブ
- 定 員：200名(予定)
- 申し込み・問い合わせ先：
ゴルフ部長 41回生 木村 浩基



同窓会生徒支援事業

100周年シンボルマーク、標語が決まりました

●光風会館エアコンの更新
光風会館の二階和室のエアコンが故障したため、同窓会が経費を負担し、夏休みの間に更新しました。
学校では、二学期から使用でき、特に、九月の文化祭では茶道部が使用するため、大変喜ばれました。



本年七月二十日の終業式で、創立百周年実行委員会がカウンタダウン企画の一つとして生徒から募集していたシンボルマークと標語の入賞者を発表し、最優秀賞には、シンボルマークが三年の佐藤誉洋さん、標語は三年の市田みのりさんの「繋ぐ一〇〇年紡ぐ一〇〇年」が選ばれました。
シンボルマークは三四九点の応募がありました。

平成30年度同窓会役員

会長	小田伊佐浩	高31
副会長	原田利恵	高29
会計	大島嗣雄	高31
会計監査	関原秀一	高31
書記	宮地良和	高34
顧問	佐竹裕子	高32
顧問	杉村大介	高43
顧問	鳥山淑子	高32
顧問	中山武久	高30
顧問	木村晋也	高38
顧問	杉浦晋也	高54
顧問	春田岳彦	高3
顧問	林矩道	高3
顧問	和久田強	高4
顧問	片桐逸司	高15
顧問	山脇智久	高15
顧問	水野智久	高3
顧問	山田介三	高3
顧問	大河皓視	高15
顧問	中島剛	高15
顧問	恩田やす恵	高28

第70回卒業生クラス代表者

1組	相原 健太
2組	坂本 渚紗
3組	福田 貴仁
4組	坂上 凜
5組	榊原 典佑
6組	平松 裕文
7組	篠原 岳
8組	日高 美
9組	本廣 輔
10組	村田 陽香
11組	上田 健大
12組	久米 菜々子
13組	城所 万輝
14組	齋藤 梨子
15組	平岩 駿也
16組	伊藤 綾美

平成30年度 人事異動

ご転入の先生方

恩田やす恵	校長	退職
西田知司	教頭	豊橋東高等学校へ
藤崎吉幸	事務長	東三河総局県民環境部へ
佐野なぎさ	教諭	退職 国府高等学校
中村佳嗣	教諭	退職 国府高等学校
若本陽介	教諭	退職 国府高等学校
神谷かずえ	教諭	退職 国府高等学校
田中典永	教諭	退職 国府高等学校
石田木則行	教諭	退職 国府高等学校
鈴木祥司	再任用教諭	岡崎高等学校へ
桂仲安	再任用教諭	豊橋東高等学校へ
古川周史	再任用教諭	退職
小林邦昭	再任用教諭	退職
岡田尚	再任用教諭	退職
鈴木裕次	再任用教諭	蒲郡高等学校へ
森下啓明	再任用教諭	蒲郡高等学校へ
坂野唯	再任用教諭	退職 成章高等学校へ
鈴木育子	再任用教諭	退職 半田高等学校へ
西貴之	再任用教諭	退職
伊藤幹雄	再任用教諭	岡崎高等学校へ

ご転入の先生方

水野智久	校長	豊川工業高等学校から
伊藤田万知	教頭	小坂井高等学校から
黒柳哲彦	事務長	新張県民事務所から
青柳樹	教諭	新張東高等学校から
中島俊一	教諭	御津高等学校から
宮本洋輔	教諭	田口高等学校から
田山千歩	教諭	福江中学校から
鈴木愛	教諭	新規採用
山本千花	教諭	新規採用
築館慧	教諭	新規採用
佐野なぎさ	再任用教諭	国府高等学校から
河合明男	再任用教諭	国府高等学校から
安藤徹志	再任用教諭	国府高等学校から
玉澤和彦	再任用教諭	国府高等学校から
沖田正行	再任用教諭	国府高等学校から
津野典子	再任用教諭	国府高等学校から
松井典子	再任用教諭	国府高等学校から
田中典永	再任用教諭	国府高等学校から
高橋直也	再任用教諭	国府高等学校から
谷山夏子	再任用教諭	国府高等学校から
牧野章乃	再任用教諭	国府高等学校から
林誠二	再任用教諭	国府高等学校から

部活動の結果・成績

弓道部・水泳部が
東海大会に出場しました

愛知県高校総体弓道競技で、女子団体二位、個人で三年の鈴木優花さんが三位となり東海大会に出場しました。また、同水泳競技では水泳部三年の尾崎綾音さんが50m自由形で県大会六位で東海大会出場を果たしました。

◆弓道部キャプテン

安藤優衣さんのコメント

私は一年生の時、「団体で全国大会に出る」という目標をたてました。全国大会にはたどり着けませんでした。三年生の夏に団体で東海大会出場を勝ち取ることができ、全力を出しきることができました。練習でも大会でも、一射を大切にすることを意識してきたため、悔いはありません。このように私が頑張れたのも、弓道部全員の



おかげだと思っています。特に、ずっと切磋琢磨してきた三年生の皆さんは、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、先生方のご指導や多くの方々の応援が力になりました。ありがとうございました。

◆弓道部鈴木優花さんのコメント

三年生最後の大会で念願の東海大会に出場することができました。東海大会で、他県から集まったレベルの高い選手達を見て、私はここまで来ることができたのだとうれしくなったのを覚えています。私にとって最後の大会となるので落ち着いて、楽しんで引こうと思

いは臨みました。しかし、当日は、やはり順番が近づくにつれて緊張も高まりました。そんな時にも隣に仲間がいてくれました。「よしっ!」という仲間の声援が競技中に聞こえてきて、とても励まされました。

日々の練習では上手くいかず、悩むこともありましたが、国府高校弓道部で弓道を続けることができて本当に良かったと思います。



今まで支えてくださった全ての方々に感謝しています。ありがとうございました。

◆水泳部尾崎綾音さんのコメント

高校生活最後の夏、昨年のインターハイへのリベンジを胸に挑んだ東海大会でした。「絶対にもう一度インターハイに行く」という思いで50M自由形一本にかけた私の最後の夏は、結果東海大会に終わってしまいました。ここで終わるわけにはいかない……というプレッシャーに押しつぶされてしまい、悔やんでも悔やみ切れない思いに、涙が止まりませんでした。そんな中、私を励ましたために、東海大会決勝に残れなかったことを知った上で、会場まで駆けつけてくれた仲間の温かさや存在には本当に救われました。

そしてここまで私を支えてきてくれた多くの方々の存在に、こんなに感謝を覚えたことはありません。高校三年生の夏を、私は生涯忘れません。多くの応援をありがとうございました。

【野球部】

・第67回愛知県高等学校優勝野球大会東三河 3位 (県大会出場)

【陸上競技部】

・愛知県高校総体陸上競技東三河地区予選会 (県大会出場)
男子 200M 3位
4×100M 6位
4×400M 6位
女子 三段跳 4位
400H 4位
4×100M 2位
4×400M 6位

【サッカー部】

・愛知県高校総体サッカー競技東三河地区予選会 3位 (県大会出場)

【ハンドボール部】

・愛知県高校総体ハンドボール競技東三河地区予選会 優勝 (県大会出場)

【剣道部】

・愛知県高校総体剣道競技東三河地区予選会 (県大会出場)
女子団体 4位

【柔道部】

・愛知県高校総体柔道競技東三河地区予選会 (県大会出場)
女子団体 予選通過

【弓道部】

・愛知県高校総体弓道競技東三河地区予選会 (県大会出場)
女子団体 3位
個人 予選通過
男子団体 予選通過
個人 予選通過
・愛知県高校総体弓道競技 (東海大会出場)
女子団体 2位
女子個人 3位
・東海高校総体弓道競技
女子個人 2位

【体操部】

・愛知県高校総体体操競技三河地区予選会 (県大会出場)
女子団体 予選通過

【水泳部】

・愛知県高校総体水泳競技東三河地区予選会 (県大会出場)
女子 50m自由形 3位
50m自由形 8位
50m自由形 9位
100m自由形 3位
100m背泳ぎ 6位
200m背泳ぎ 4位
200m個人メドレー 4位
400mフリーレー 4位
・愛知県高校総体水泳競技 (東海大会出場)
女子 50m自由形 6位

平成29年度卒業生（既卒生含む） 合格状況

平成29年度の大学等入試結果及び就職状況は次の通りです。普通科については、名古屋大学現役3名合格、愛知教育大学13名合格をはじめ、国公立大学へ124名（現役118名）が合格を果たしました。合格校は北海道から九州まで全国に広がっており、自分のやりたいことを求めて最後まで粘り強く頑張り続けた結果がうかがえます。私立大学については、早稲田、慶應、東京理科、青山学院、同志社、立命館、関西学院、関西など県外の有名私立大学をはじめ、南山大84名、愛知大66名、名城大79名など地元の愛知県内の大学にも多数合格を果たしました。看護・医療系や管理栄養系など資格志向が引き続き人気の状況です。商業科については、短期大学への志望が若干増えたものの、約半数が進学をする傾向に傾向に変わりはありません。就職状況は、地元優良企業を中心に事務職14名、愛知県警1名など自分の意向に沿った就職をしています。 ※以下の進路状況は、平成30年4月現在、本校にて把握しているものです。

【普通科】

国公立大学	
大学名	合格者数
帯広畜産	1
筑波	1
宇都宮	1
埼玉	1
千葉	1
東京外国語	1
電気通信	1
東京農工	1
横浜国立	2
富山	1
金沢	2
福井	4
山梨	1
信州	5
岐阜	3
静岡	17
愛知教育	13
豊橋技術科学	4
名古屋	4
名古屋工業	6
三重	8
奈良女子	1
和歌山	1
公立はこだて未来	1
秋田県立	1
国際教養	1
茨城県立医療	1
高崎経済	1
前橋工科	1
首都大学東京	1
横浜市立	2
金沢美術工芸	1
富山県立	1
石川県立	1
静岡県立	1
静岡文化芸術	6
愛知県立	10
名古屋市立	6
滋賀県立	3
島根県立	1
県立広島	1
広島市立	1
下関市立	1
高知工科	1
長野	1
合計	124

国公立短期大学	
短期大学名	合格者数
岐阜市立女子短期	1
静岡県立大短期	1
合計	2

私立大学	
大学名	合格者数
千葉工業	1
青山学院	2
亜細亜	1
大妻女子	8
学習院	1
慶応義塾	2
駒澤	1
昭和女子	1
芝浦工業	1
白百合女子	2
上智	3
実践女子	2
専修	2
中央	2
東海	3
東京理科	1
日本体育	5
日本	9
日本赤十字看護	1
法政	2
明治	4
明治学院	1
立教	6
早稲田	3
麻布	1
神奈川	2
フェリス女学院	4
岐阜聖徳	4
東海学院	1
聖隷クリストファー	1
常葉	1
愛知	66
愛知学院	16
愛知学泉	1
愛知工業	34
愛知工科	1
愛知淑徳	15
金城学院	22
至学館	1
椋山女学園	30
大同	1
中京	68
中部	13
東海学園	12
豊田工業	1
豊橋創造	6
同朋	2
名古屋外国語	23
名古屋学院	8
名古屋学芸	18
名古屋芸術	2
名古屋女子	37
名古屋文理	6

南山	84
日本赤十字豊田看護	1
日本福祉	23
藤田保健衛生	16
名城	79
鈴鹿医療科学	2
京都学園	1
京都産業	1
同志社	17
龍谷	3
立命館	36
大阪芸術	1
関西	7
近畿	6
関西学院	2
岡山理科	1
合計	741

私立短期大学	
短期大学名	合格者数
名古屋女子大短期	1
愛知大短期	1
名古屋文化短期	1
愛知医療学院短期	1
合計	4

大学校	
学校名	合格者数
防衛	1
合計	1

専門学校	
学校名	合格者数
国立東名古屋病院附属リハビリ学院	1
浜松市立看護専門学校	2
愛知県立総合看護	4
県立愛知看護	2
豊橋市立看護	4
藤田保健衛生大学看護	1
安城碧海看護	1
東三河看護	1
名鉄看護	5
中部労災看護	1
豊橋歯科衛生士	1
三河歯科衛生	1
名古屋医専	1
大原学園	1
合計	26

就職状況	
公務員	
愛知県職員	1
愛知県警察	2
新城市役所	1
岡崎市消防	1

自衛官	1
合計	6

【商業科】

私立大学	
大学名	合格者数
京都精華	1
岡崎女子	1
至学館	1
合計	3

短期大学	
短期大学名	合格者数
愛知大短期	3
岡崎女子短期	5
中日本自動車短期	1
名古屋女子大短期	1
名古屋短期	1
合計	11

専門学校	
学校名	合格者数
豊橋市立看護	1
東三河看護	1
名古屋ウェディング&ブライダル	1
名古屋製菓	2
合計	5

就職状況	
公務員	
愛知県警察	1
合計	1

企業名		
企業名	人数	職種
豊川信用金庫	1	事務
ひまわり農業協同組合	2	事務
日本郵便	2	事務
大垣共立銀行	1	事務
オーエスジー株式会社	1	事務
中部電力株式会社	1	事務
コガネタカロニクス株式会社	2	事務
ユタカコーポレーション	1	事務
ごとう税理士法人	1	事務
かがやき税理士法人	1	事務
有限会社大井薬局	1	事務
株式会社デンソー	1	技能
TBCグループ株式会社	1	サービス
株式会社ミュゼプラチナム	1	サービス
有限会社レアールイワイ	1	サービス
合計	18	

本年いただいた寄付金

◆同窓会総会

高20回生	200,000円
高30回生	200,000円
高40回生	200,000円
高55回生	50,000円
当番回生一同	522,036円

◆「同窓会活動協力支援」寄付金

283名 790,784円

ご寄付ありがとうございました

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

ご確認ください

- 今回、1枚又は2枚の振込用紙を同封いたしました。
 - 1枚は、2019年度の会報63号～2023年度の会報67号までの郵送代金振込用紙です。(既に振り込まれた方には、同封していません)
 - もう1枚は、「同窓会活動協力支援」寄付募集の振込用紙です。随時・適時に、よろしくお願ひ申し上げます。
- 振込先：郵便局 00830-2-53271
- 振込先：郵便局 00860-7-215194

有限会社
ミト小田鉄工所
代表取締役
小田 伊佐浩 (31回生)
〒441-0321
豊川市御津町広石五反田31番地
TEL 0533-76-2720 FAX 0533-76-3093

超高層ビルから住宅まで鉄骨建築のエキスパート
国土交通省認定 Hグレード
東和鋼業 株式会社
〒442-0824 愛知県豊川市下山岡高瀬6番地
http://www.fab-towaco.jp

宮地総合保険
健康経営優良法人
34回生
35回生

印刷一般
大林印刷
大林 久美栄(国高13回)
大林 久子(国高38回)
豊川市久保町下屋敷39番地
TEL (0533) 88-2281
FAX (0533) 88-6299

三重県英虞湾真珠協会
会長 磯和 和治
三重県志摩市志摩町越賀
(株)英虞湾真珠協会エンタープライズ
代表取締役・協会常務理事 竹本 潤 26回生
豊川市八幡町本郷
お客様ご案内センター 0533-87-3703

建物の塗装・防水工事のことならご相談下さい
株式会社杉村塗装
代表取締役
杉村 大介 (第43回生)
〒442-0845 豊川市国府町上河原4 1番地の2
TEL 0533-87-5410 http://www.peintre.co.jp

記念写真・証明写真・出張撮影
スクールフォト・カラープリント即日仕上げ
名鉄国府駅前
Photo **鈴木写真館**
ince 1938.
〈TEL〉0533-87-3271
豊川市久保町榎田13 〈HP〉www.p-s-s.net
〈営業時間〉火曜定休(祝祭日除く) AM9:00~PM7:00

waltz
ワルツ株式会社
片桐 逸 司(国高15回)
片桐 近 義(国高17回)
本社 〒441-8077 豊橋市神野新田町二の割2-1
Tel(0532)33-3510 Fax(0532)33-3515

大切にしたい、ほっとするひと時
いさし園
代表取締役社長 井指 宏隆 (第43回生)
井指 美紀 (第43回生)
井指 妙子 (第19回生)
井指製茶株式会社
本社工場 愛知県豊川市市田町大道下22-2
TEL(0533)86-2273内 FAX(0533)84-3811
http://www.isashien.jp/

MSF Mitaki Space Factory
Architectural Design ミタキスペースファクトリー
Fun Factory
community cafe
代表 井上 貴 仁(第43回生)
井上 暁 子(第43回生)
〒442-0029 豊川市末広通3-16-1
TEL/FAX(0533)80-0066
http://www.mitaki.net/

健康大葉で食文化の彩りを創る
熊谷園芸
熊谷 隆(第42回生)
〒442-0804 豊川市二葉町中西浦26
TEL (0533) 89-2552

和久田歯科医院
高35回生 和久田 交史
高4回生 和久田 強
豊川市蔵子1丁目26番地44
TEL 0533-86-3465

一般・産業廃棄物収集運搬許可業者 産業廃棄物許可業者
未来のこどもたちのために...
株式会社 **明輝クリーナー**
本社/豊橋市若松町中山101-34
TEL(0532)25-1026
FAX(0532)25-1227
原町工場/豊橋市原町南山1-99
TEL(0532)41-7530
FAX(0532)43-0165
HP http://www.meiki-c.com

お任せ下さい!
新築・リフォーム・耐震補強
(株)柘植建設
TSUGE 柘植 敬介(第43回生)
豊川市久保町向田1番地の10
TEL(0533)88-3207

◆自動車内装用部品製造◆
◆工業化住宅用部品製造◆
宇都宮工業株式会社
土井 義昭(国高8回)
本社/豊川市大木町柏木2番地1
☎(0533)93-2626代
新城工場/新城市八名井字赤松1番7
☎(0536)26-1680代